

魚崎ポンプ場改築更新事業(第1期) 改善過程の公表

事業件名	魚崎ポンプ場改築更新事業(第1期)
発注者	神戸市
入札公告	平成27年7月28日
技術提案の提出	平成27年10月22日,23日
技術対話	平成27年12月1日
再技術提案の提出	平成27年12月24日,25日

※一部の内容については、本資料単体で文章の意味が通じるように、神戸市が編集を加えた。

A者への改善要請事項(共通)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
全般(表記の訂正等)	各様式集の根拠や補足説明等が設計図書に記載されている場合、参照先の設計図書番号および頁の追加を行うこと。	指摘に基づき改善
要求水準に関する確認事項	機器搬入、更新工事、維持管理を考慮した建屋計画とし、重機類の建屋内進入を考慮すること。機器搬入等に重機類の建屋内進入を考慮する必要がないと考える場合は、その合理的な理由を技術提案書その他に示すこと。	指摘に基づき平面レイアウト計画について追記
事業の工期に関する項目	第2期工事期間が標準案よりも長くなっているが、その要因を様式内に記述すること。	第2期工事期間が標準案よりも長くなっている要因を追記
仮設計画に関する項目	各工種で仮設計画及び配慮すべき事項について、ステップ毎に記述すること。回答スペース等の都合により詳述できない場合は、「詳細については様式第4-5号〇〇に記載する」等の記述を行うこと。	指摘に基づき改善
安全対策に関する項目	災害発生時における重機の安全対策について、必要に応じてその対応を記述すること。	指摘に基づき改善
緊急時対策に関する項目	過去事例等に基づき災害時のバックアップ体制等を具体的に想定することを要望する。必要に応じてその内容を記述すること。	災害発生時およびトラブル発生時の体制に修正
住民対応に関する項目	市との具体的な役割分担、入札参加者と住民との直接的な対応を記述すること。	指摘に基づき改善
構成企業の役割、責任体制に関する項目	神戸市の対応窓口は現場代理人とすること。	指摘に基づき改善
	工事期間中の担当者変更等に関する対応(長期に関する視点)について記述すること。	指摘に基づき改善
イベント時・見学時の対応に関する項目	イベントや見学の規模(人数)や開催頻度等の想定(過去の実績や類似事例等を用いている場合はその内容も含む)を記述すること。	指摘に基づき改善

A者への改善要請事項(土木) ※提案者の持つ具体的な工法や数値目標に言及するもの等は"〇〇"と記載した。

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
事業の工期に関する項目	基礎の施工に関する〇〇工法の採用に際し、地中の障害物を想定していないように見受けられるが、同工法で施工可能と判断した根拠を記述すること。	〇〇工法が施工可能と判断した根拠を追記
	旧沈砂スクリーンかす洗浄棟の取り壊しについて、圧碎機(ニブラ)で騒音の目標値内(〇〇db)に抑えることが可能と判断した根拠を示すことを要望する。 必要に応じて記述を修正すること。	断面図に音響検討結果のコンター図および受音点での値を追記
仮設計画に関する項目	地蔵川雨水幹線及び滞水池送水管の線形が移設前に比べると水理性に劣ると考えられるが、移設後においても必要な能力を有していることを記述すること。	地蔵川雨水幹線及び滞水池送水管の線形が移設後も必要な能力を有していることを追記
安全対策に関する項目	本工事では坑内作業を行うこととなるため、酸素欠乏・硫化水素中毒危険作業に対する安全対策を記述すること。	指摘に基づき改善
施工数量の想定に関する項目	以下の内容を確認すること。 ①土壤汚染の範囲設定について、根拠資料を示すこと。 ②深さ方向についても根拠資料を示すこと。 ③土壤汚染調査の対象範囲を〇〇とした根拠を示すこと。 ④構造物築造後の埋戻しについて、埋戻し土の種類(購入土等)を記述し、その土の種類を選定した根拠を示すこと。	土壤汚染の範囲設定及び深さについての注釈を追記 埋戻し土の種類と選定根拠を追記
	(土壤汚染対策について)協議主体者が市建設局となっているが、入札参加者による協議の同席は考慮していないのか。記述内容を修正すること。	指摘に基づき改善
	「魚崎ポンプ場の地下水は、土壤汚染に伴い汚染しているものと想定」とあるが、想定した汚染度合いを記述すること。 また、例示写真を基に、現在想定する排水処理施設のおおよその規模(大きさ)を記述すること。	指摘に基づき改善
	宮水対策として、神戸市想定では設置する観測井は〇〇箇所としている。同内容を基準に、観測井の設置箇所数等の想定を記述すること。	宮水対策の観測井に関する記述を追記
	滞水池送水管は、下水道設備(機械・電気)工事一般仕様書に従い、現状の管種であるダクタイル鋳鉄管で計画すること。 これにより難しい理由がある場合、その理由を示すと共に、提案で採用しているFRPM管について、現状の管種と同等以上であることを定量的に様式内に示すこと(例:引張強さ、曲げ強さ等の物性値の比較)。	指摘に基づき改善
	(バイパス管の修繕における)地盤改良について、その必要性と地盤改良範囲を記述すること。	指摘に基づき改善
	Dsc層とDg層の被圧水頭について、配布資料として提供した神戸市想定(H21検討結果)ではKOP-〇〇mとなっている。同内容を基準として、被圧水頭の想定を見直し、記述を修正すること。	指摘に基づき改善

A者への改善要請事項(土木) ※提案者の持つ具体的な工法や数値目標に言及するもの等は"〇〇"と記載した。

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
構造検討方針に関する項目	既設構造物(護岸)の照査を行う場合、構造分類はⅡ類では適切でない可能性がある。護岸の構造照査については、「港湾の施設の技術上の基準・同解説」に準拠する等、必要に応じて記述を修正すること。	指摘に基づき改善
	既設本庄汚水幹線との接続部の開口補強の想定は、既設本庄幹線の配筋情報が不明であることのみならず、一定の劣化を想定しているのかどうかを記述すること。 また、開口補強に際しては、実施設計時に再度発注者と協議を行うものとし、その旨を記述すること。	指摘に基づき改善
	共通水路や吐出井の仮壁は1期運用開始後に撤去可能な構造とすることを記述すること。	指摘に基づき改善
環境対策に関する項目	運河について〇〇締切ではなく〇〇締切とした妥当性を記述すること。 同提案が過去の施工実績より管理者の許可が得られるとの考えであれば、その内容も記述すること。	〇〇締切に対しての管理者の許可条件の実績及び追加提案を追記
住民対応に関する項目	ホームページの作成や工事新聞の作成などが見積書の費用に積上計上される場合、同提案は不要であるため削除すること。	指摘に基づき改善
鉄筋コンクリート構造物等の耐久性の向上に関する項目	コンクリート配合が下水道施設構造物設計指針(案)ー処理場・ポンプ場編ー(神戸市建設局)における標準品と異なるため、提案配合を採用した合理的な根拠を記述すること。	提案配合を採用した根拠をひび割れ解析結果と共に追記
	「躯体の劣化対策」及び「場内管路施設」「流入渠及び放流渠」の塩害対策について、施設毎に要求水準を満たす旨を記述すること。 また、躯体について、腐食対策及び塩害対策が示されていない部分があるため、記述を修正すること。	施設毎に塩害対策の要求水準を満たしていることを追記
	なお、要求水準書では、流入渠の腐食対策を求めておらず、実施設計における腐食環境調査前の現段階においては過剰な対策であると考えられるため、特別な理由のない限り記述を削除すること。	流入渠の腐食対策を削除 腐食対策の不足を追記
鉄筋コンクリート構造物等の耐久性の向上に関する項目	ひび割れ幅〇〇mm以内とする時、ひび割れ指数を〇〇以上としたことについての理由を記述すること。 また、ひび割れが生じた場合の対応について記述することを要望する。 必要に応じて記述を修正すること。	ひび割れ指数及びひび割れ幅の設定理由を追記
沈砂池・ポンプ場能力に関する項目	沈砂池の深さ方向の設定根拠を記述すること。	指摘に基づき改善
特筆すべき工夫に関する項目	流入渠について、神戸市標準案と異なる形状を提案する場合、以下の事項に対して提案内容の方が優位であることを示すこと。なお、優位性の提示が困難な場合は、本提案は神戸市標準案よりも事業費が大きくなることが想定されるため、神戸市標準案を基準として記述を修正すること。 ①接続水路の緊急時のバックアップ対策(異物流入による閉塞等) ②維持管理費 ③直線流入に比して増大すると考えられる損失水頭(特に外側の水路)への対策	提案の流入渠形状の優位性についての記述を追記

A者への改善要請事項(建築) ※提案者の持つ具体的な工法や数値目標に言及するもの等は"〇〇"と記載した。

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
要求水準書に関する確認事項	仮使用時の2方向避難については、実施設計時に関係部署と協議し設計を進める必要があるため、技術提案書にその旨を記述すること。	回答欄を修正 仮使用時の2方向避難について追記
	ルート〇設計(耐震設計上の種別を示す)の対応について記述すること。 なお、計画通知をルート〇で出さない場合でも、ルート〇の検討をする旨を記述すること。	回答欄を修正 保有水平耐力の対応を追記
仮設計画に関する項目	既設撤去時の補強について、どのように考えているか記述すること。	既設撤去時の補強について追記
	第1期工事の仮壁と撤去範囲を記述すること。 また、第1期工事に地下部撤去が含まれていないことを明示すること。	撤去範囲について追記 地上に設ける仮壁、段階施工計画の該当ステップ、配慮すべき事項を追記
施工数量の想定に関する項目	アスベストの数量について、〇〇の数量を見積書に含まないのであれば、想定数量の表からは削除し、欄外に※でアスベスト含有の可能性のある旨を記述すること。	〇〇の数量を表中から削除し、注釈を修正
構造検討方針に関する項目	危険物倉庫を暫定的に北側に仮設置し、第2期工事に南西側に本設とあるがどのような構造か記述すること。	危険物庫の構造概要及び保有空地の考え方を追記
レイアウト計画に関する項目	PCB保管庫のレイアウトに関して、設計思想を記述すること。	PCB保管庫のレイアウトについて追記
	建物の天井高さについて、設定根拠を記述すること。	天井高の設定根拠を追記
景観対策に関する項目	将来的に、西側敷地において増築可能か記述すること。	西側敷地について追記
	第2期工事の壁面緑化のメンテナンス要否を記述すること。	第2期工事の壁面緑化のメンテナンスについて追記
	維持管理性を考慮した植栽計画を要望する(落葉のない植栽など)。必要に応じて記述を修正すること。	維持管理性を考慮した植栽計画について追記
設計図書に関する項目	〇〇樹脂塗料の耐久性を記述すること。また、改修時の留意事項として、以下の事項を記述すること。 ①特定の業者でしか施工できないものか ②別仕様の塗装の可否について	外装吹付材について追記
	外壁について、要求水準書で示した断熱性能を確保する提案がなされていないため、記述を修正すること。	指摘に基づき改善
	燃料タンクの基礎形式を記述すること。	燃料タンクの基礎形式を追記
	縦スリット窓、横スリット窓を設けるとあるが、建具の遮音性能について記述すること。 なお、実施設計時に対応する場合は、その旨を記述すること。	立面計画について追記

A者への改善要請事項(建築機械) ※提案者の持つ具体的な工法や数値目標に言及するもの等は"〇〇"と記載した。

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
レイアウト計画に関する項目	建築設備に関するPS・DSの設置を考慮すること。	指摘に基づき改善
設計図書に関する項目	給水設備は直圧給水とするようお願いしたい。	指摘に基づき改善
	消防設備のスプリンクラーポンプ設置可否を提示すること。また、必要な場合は、同方式の採用根拠を示すこと。	指摘に基づき改善
	排気は全て排気チャンバより排出しているが、トイレ排気等とプラント設備排気の静圧差を確認すること。	指摘に基づき改善
	トイレ排気等は単独で排出することは可能か。対応可否の記述を要望する。必要があれば記述を修正すること。	指摘に基づき改善
	(昇降機について)ポンプ室の設置を考慮すること。	指摘に基づき改善

A者への改善要請事項(建築電気) ※提案者の持つ具体的な工法や数値目標に言及するもの等は"〇〇"と記載した。

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
要求水準書チェックリスト	人感センサーを別置型で対応する場合、内蔵型と同等の機能を確保を要望する。必要に応じて記述を修正すること。	指摘に基づき改善
施工数量の想定に関する項目	建築電気におけるPCBの数量について想定内容・根拠を記述すること。	建築電気におけるPCBの想定数量について追記

A者への改善要請事項(機械)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
仮設計画に関する項目	仮設計画は、段階的な施工ステップの既存施設への維持管理動線を記述すること。	指摘に基づき改善
	駆動水管及び脱臭ダクトの仮設ルートは、維持管理動線を記述すること。	指摘に基づき改善
レイアウト計画に関する項目	ポンプ、ガスタービン等のオーバーホール時の搬出入動線を記述すること。	指摘に基づき改善
	諸室である工作室についても記述すること。	指摘に基づき改善
	浸水区画内の設備について、浸水時及び浸水後の運用を記述すること。	指摘に基づき改善
設備の維持管理点検計画に関する項目	自動除塵機の提案は、安全性が不明確であるため、明記すること。	指摘に基づき改善
	スクリーンかす搬出機の提案は、維持管理性が不明確であるため、明記すること。	指摘に基づき改善
運転管理に関する項目	スクリーンかすの移送方法は、要求水準書の内容より優れている旨が解るよう明記すること。優れた提案と認められる場合に限り、採用する。	提案内容が優れている根拠を明記
省エネルギーに関する項目	駆動水ポンプ等の提案は、既存の関連機器を踏まえて省エネルギーへの寄与を記述すること。	指摘に基づき改善
既設設備、構造物への影響に関する項目	基礎、仮設工事による屋外設置の既存設備への影響対策を記述すること。	指摘に基づき改善
特筆すべき工夫に関する項目	防火区画の提案は、防火区画範囲・提案事項を明確化すること。	指摘に基づき改善

A者への改善要請事項(電気) ※提案者の持つ具体的な工法や数値目標に言及するもの等は"〇〇"と記載した。

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
要求水準書に関する項目	電気室と監視室を同一階で隣接させることは可能か。可能でない場合は、隣接する場合と同等以上の維持管理性を有するような対策を講じ、その旨を記述すること。	指摘に基づき改善
仮設計画に関する項目	既設ポンプ場撤去時の取り壊し箇所近傍にある電気設備盤について、安全性を検討し、その検討結果を記述すること。	指摘に基づき改善
設備の信頼性に関する項目	自動運転機器において、停復電時の運転方法を検討し、記述すること。	指摘に基づき改善
設計図書に関する項目	魚崎ポンプ場と既設中央監視設備とのシステム構成について、中継端子盤及び伝送装置を検討し、必要に応じて記述を修正すること。	指摘に基づき改善
	魚崎ポンプ場の運転が伝送系の状態(故障、停止等)に影響されないような運転フローとするものとし、記述を修正すること。	指摘に基づき改善